

341炉、窯を起因物とする死傷災害事例(最大99事例まで) (2020年)

No	年	月	発生時	死傷災害事例	年齢	事故の型	小業種	労働者規模
1	2020	1	4 5	調理場でチキンのシーズニング作業中、異物を発見し、蒸気釜の排水作業を行っていた別の従業員に報告に行った。その際、その作業員が排水作業を止め、その異物を確認するため、排水ハンドルから手を離れたことで、再び釜が回転して熱湯が排水され、被災者は左下腿に熱傷を負った。	22	11	10109	500 ～ 999
2	2020	1	23 24	被災者と連絡が取れないため店に行ったところ、店内は、換気扇が止まっており、ナンを焼くタンドリー釜の木炭が燃えていた。その環境の中で、店内の椅子に座ったまま、意識を失っており、呼吸器系統の窒息により死亡した。	43	12	140201	1～9
3	2020	1	23 24	被災者と連絡が取れないため店に行ったところ、店内は、換気扇が止まっており、ナンを焼くタンドリー釜の木炭が燃えていた。その環境の中で、店内の長椅子に横たわって、意識を失っており、呼吸器系統の窒息により死亡した。	49	12	140201	1～9
4	2020	1	17 18	工場内で、溶体化炉の建設工事中、レバブロックを取り出す際、スプロケットとチェーンの間に右手中指を挟み裂傷を負った。	26	7	30302	50～ 99
5	2020	1	9 10	メッキ工場で各設備メンテを行うため作業を実施中、マンホールを開放した約10秒後に炉内で爆発（推定では水素爆発）が発生した。その際、ポット炉内の溶融亜鉛が爆風で押し出され広範囲に飛散し、飛散した溶融亜鉛を浴び顔、背中以外の大部分に熱傷を負った。	31	14	11001	500 ～ 999

6	2020	1	9 ～ 10	メッキ工場で各設備メンテを行うため作業を実施中、マンホールを開放した約10秒後に炉内で爆発（推定では水素爆発）が発生した。その際、別の場所でマンホール内のサポートロールを点検するため上から見ていたときに爆風を受け右顔面、首に熱傷を負った。	48	14	11001	～ 999
7	2020	1	9 ～ 10	メッキ工場で各設備メンテを行うため作業を実施中、マンホールを開放した約10秒後に炉内で爆発（推定では水素爆発）が発生した。その際、ポット炉内の溶融亜鉛が爆風で押し出され広範囲に飛散し、飛散した溶融亜鉛を浴び左頬、左首、左膝に熱傷を負った。	41	11	11001	～ 999
8	2020	1	23 ～ 24	飲食店の換気扇フード内を清掃していたところ、バランスを崩してフード下の高温スープ釜に両足が入り熱傷を負った。	24	11	150109	1～9
9	2020	2	9 ～ 10	保育所の調理室で、スチームコンベクションオーブンで人参をスチーム加熱した後、中心温度を計測しようとオーブン内部に手を伸ばした。その際、蒸気が十分に抜けていなかったため、指の第二関節から右手首に火傷を負った。	53	11	170209	1～9
10	2020	2	19 ～ 20	厨房で炒め物をしていたところ、火のついたラードが跳ねて、右手指にかかり火傷した。	34	11	140201	10～ 29
11	2020	2	23 ～ 24	厨房で簡易フライヤーの清掃作業中、高温の油をフライヤーに移しかえる際、足下が滑り顔に油が飛び跳ねて、額、左目の上に火傷を負った。	30	11	80209	10～ 29
12	2020	2	12 ～ 13	足下のバランスを崩してよろけた際、自動半田槽半田付け部分に右手が入り、火傷を負った。	19	11	11403	10～ 29
13	2020	3	16 ～	マグネシウムインゴット casting 時に、本来は手で開けるべき溶解鍋の蓋を足で開けようとした。その際、鍋の中に足が入って火傷を	29	1	11109	10～

			17	負った。					29
14	2020	3	10 ～ 11	加熱室で、バットに熱湯をかけ消毒中、熱湯が右足に掛かり、右足の甲に熱傷を負った。	47	11	10109		50～ 99
15	2020	3	11 ～ 12	フライヤーで調理作業中、手が滑り、高い位置から落としてしまい、左手前腕部に油が掛かり熱傷を負った。	20	11	140201		10～ 29
16	2020	4	10 ～ 11	作業場で、フライヤーで揚げ物をしているとき、油がはねて右手指先、手の甲および腕を火傷した。	45	11	80209		50～ 99
17	2020	6	16 ～ 17	加熱調理室内で、食材のボイル作業後、蒸気式回転二重釜（直径70cm、高さ1m）に残っている熱湯を排出するため、回転式二重釜を前方に傾けた。そのとき、足下に置いてあるスチール製のザル受け台（高さ30cm）に熱湯が当たった。その際、エプロンを装着していなかったため、跳ね返った熱湯が、右足の長靴内に入り込み、右足脛に火傷を負った。	48	11	10109		100 ～ 299
18	2020	6	13 ～ 14	店内の調理場で、釜の前で油あげの下処理のため熱湯を掛けたところ、その熱湯が跳ねて足に掛かり、左足甲部分に火傷を負った。	58	11	140201		1～9
19	2020	6	8 ～ 9	工場内で、粉を入れたプラスチック容器に、釜で沸かした湯を計量しながら柄杓ですくい入れ、粉を溶かしていた。ハンドルを回して釜を傾げる際、通常よりも早く回したため、釜の中の湯が波打って左足に掛かり、甲と踵に熱傷を負った。	22	11	10109		10～ 29
20	2020	6	8 ～ 9	炉の異常処置作業中、非常停止ボタンを押し、排出部のシャッターに製品が詰まっており、右手で製品を押し出した際、シャッターが動き、右手を挟まれた。このとき、右手人差し指と右手中指に挫創を負った。	32	7	11502		300 ～ 499

21	2020	6	5 ～ 6	店内のキッチンで、フライヤー内の油交換作業を行っていた際、油を入れるためにラックに乗ったところ転倒し、咄嗟に出した左手がフライヤーの中に入り、左前腕に熱傷を負った。	62	11	140201	10～ 29
22	2020	7	18 ～ 19	製造作業を終え、縦型抽出釜を約90℃の熱水とアルカリ洗剤で洗浄して排出作業をし、洗浄水が出なくなったので、全て流れ出たものと思い釜底の蓋を開けようとした。そのとき、排出口付近に詰まっていた残渣と一緒に残水が流れ出して体に掛かり、両腕・首・腹部に火傷を負った。	53	11	10109	100 ～ 299
23	2020	7	17 ～ 18	大型釜を洗っているときに、段差のあるところにつまずき、熱湯を沸かしている別釜の外側に右手首から肘にかけてつけてしまい、熱傷を負った。	66	11	140201	10～ 29
24	2020	7	7 ～ 8	製鋼工場電気炉でスクラップ溶解作業中、炉内での水漏れを発見し、水冷パネルの給水バルブ閉止をして作業に着手し、完了直後に炉内から吹き出した熱、風に煽られ、両下肢、右上腕に火傷を負った。	33	11	11001	300 ～ 499
25	2020	7	10 ～ 11	学校給食センターの調理室で、釜で野菜等を炒めていたところ、隣の釜での吹きこぼれに気づき釜の蓋を開けた際、吹きこぼれてきた熱湯が右足首に掛かり火傷を負った。	58	11	10109	30～ 49
26	2020	8	8 ～ 9	溶解炉で溶湯をフラックス処理し、カスが入った手持ち式のバケツを後ろの置き場に移動する際、溶解炉壁の支柱にバケツをぶつけてこぼした。被災時、脚絆と作業靴カバーを装着していたが、脚絆と作業靴の間からカスが入り、左足に火傷を負った。	35	11	11502	30～ 49
27	2020	8	17 ～ 18	醸造所で、ビールの仕込中、ビールのタンクから熱湯が吹きこぼれ、右背中から足首に掛かり、熱傷を負った。	35	11	10105	10～ 29
28	2020	8	20 ～ 21	工場では、材料を投入し、2袋目を取るため後ろを振り向いた際、投入口から高温スラグが飛散し体に掛かった。このとき、左下肢、右下肢、左手に熱傷を負った。	19	11	11001	1000 ～ 9999

29	2020	8	19 ～ 20	店舗調理場内茹で麺機前で、オーダー作成中に茹で麺機の排水ホースに足が引っ掛かって外れてしまい、そのお湯が足に掛かり、左足首から甲に掛けて火傷を負った。	17	11	140209	30～ 49
30	2020	8	13 ～ 14	店舗厨房内で飲食ラーメンを調理中、電子レンジから加熱後のラーメンを取り出す際、手を滑らせて自身の足に落として右足に火傷を負った。	20	11	170209	10～ 29
31	2020	8	13 ～ 14	保温炉上でパイロットバーナーの点火状態を確認したところ、2本のうち1本が着火していなかった。そのため、点火済みのバーナーからもらい火をしようとした際、点火プラグのリード線が外れて左手に接触し感電した。感電によるショックのため、体が硬直したまま炉下（高さ約3m）に墜落し、右膝半月板損傷の疑い、左足打撲を負った。なお、墜落地点には耐熱ブランケットが敷かれていた。	46	13	11101	100 ～ 299
32	2020	9	14 ～ 15	麺が茹で上がったため釜から麺をすくおうとしたとき、ざるとレバーを固定する棒がしっかりはまっておらず、麺とお湯を同時にすくい上げて、左手甲から肘にかけて火傷を負った。	20	11	140201	10～ 29
33	2020	9	10 ～ 11	給食業務の委託を受け、運営している病院厨房内で、沸かしたお茶を入れたやかんを、調理作業台から移動させようとしたところ、手が滑り、やかんを落とし際、熱いお茶が左足に掛かり、火傷を負った。	51	11	80209	30～ 49
34	2020	9	15 ～ 16	店舗でカレーを製造し、後片付けをしていた際、ずらした状態で重ねて置かれていた番重が崩れ、熱いカレーが、首・両腕・背中・胸にかかって火傷を負った。	49	11	140201	50～ 99
35	2020	10	14 ～ 15	イカ解凍用ネットを熱湯洗浄している際、誤って左手を熱湯に浸して、火傷を負った。	37	11	10102	50～ 99
			13	調理作業時、オープンから出てきた料理を素手で掴んで、右手の				10～

44	2020	12	10 ～ 11	工場内で、炉のエア配管の取り外し中、クレーンで配管を1点吊りし、クレーン側に体重を掛け、配管のボルトを取り外した際、バランスを崩して転落し、油の循環ポンプに当たった。このとき、左目上に切傷、右肺気胸、右肋骨を折った。	57	1	11301	50～ 99
45	2020	12	16 ～ 17	炊飯釜を流しに運ぶ際、作業台の脚に左足が引っ掛かって転倒し、右膝を強打して骨折した。	63	2	80209	10～ 29

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各起因物における死傷災害事例\(最大99事例まで\)](#) (2020年) に戻る。